

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1495600254	事業の開始年月日	平成24年9月1日	
		指定年月日	平成24年9月1日	
法人名	株式会社日本アメニティライフ協会			
事業所名	花物語しんゆりナーシング			
所在地	(215-0004) 神奈川県川崎市麻生区万福寺2-20-1			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
定員等	認知症対応型共同生活介護	宿泊定員	名	
		定員計	18名	
自己評価作成日	平成25年9月20日	評価結果 市町村受理日	平成26年2月4日	
定員等	ユニット数		2ユニット	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>小田急線新百合ヶ丘駅、徒歩7分ですが、樋の木山公園といった散歩道もあり閑静な住宅地の中にあります。</p> <p>看護師が日中在中しており、日々の健康チェックはもちろん、医療的処置が必要な方の対応も個別に行っているため、安心して生活ができます。往診では内科と整形のそれぞれの医師による診療を受けられ、クリニックへの受診対応も行っております。</p> <p>寄り添い合う暮らしの理念に基づき、日常の介護と専門の医療、家族の思いと地域との関わりにより、それぞれが寄り添い、支援をしております。</p>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成25年10月3日	評価機関 評価決定日	平成26年1月10日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>【事業所概要】 当事業所は小田急線新百合ヶ丘駅から徒歩7分、周辺は閑静な住宅街にある。開設1年を迎えた新築の建物は、周囲の環境に合わせて落ち着いた色合いの地下1階、地上2階の軽量鉄骨造りで瀟洒な戸建て住宅を思わせる。ホームの名称にある「ナーシング」という言葉の通り、看護師が日中常駐し認知症や病気を抱え看護ケアの必要な利用者を多く受け入れている。理念「笑顔を生み、意欲を湧かせ、寄り添い合う」を礎にした介護を実践している。</p> <p>【看護師・介護士・医師の連携による医療的専門的な看護・介護】 インスリン、在宅酸素、吸引、遺漏などの医療行為に必要な方や脳腫瘍、リュウマチ、脳梗塞、低血圧など重い持病のある方に対する看護・介護ケアが行える体制を整えている。認知症グループホームには少ない整形外科医や内科医が交互に毎週訪問し診療にあたる体制が出来ている。看護師が9～18時まで毎日常駐し、一人ひとりの利用者の状況を把握し専門性のある医療行為や迅速な対応により、利用者の安心感を醸成している。</p> <p>【開設1年の事業所としての基盤づくり】 明確な方向性を示す理念を策定し、新しい事業所としてグループホームの基盤を築く取り組みをしている。理念の周知徹底、運営推進会議年6回開催による情報や透明性の確保、助言や意見収集、年間研修計画による職員の育成及び役割分担による活動の推進、防災訓練や緊急時に向けた安全対策など着実に懸命な努力が見える。</p>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	花物語しんゆりナーシング
ユニット名	1階

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>理念の1つである、寄り添い合い暮らす環境では、職員による日常の介護、医師による専門の医療、家族の思い、地域社会との関わりなど、それぞれが支え、寄り添い合いらす環境作りを共有しています。</p>	<p>理念は、管理者が事業所開設時に策定し、職員の同意を得ている。毎朝の「申し送り」で理念・行動指針を唱和し、周知徹底を図っている。理念の基本にある「笑顔・意欲・寄り添う」を介護・看護の礎とし、職員は実践している。</p>	
	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>町内会に加入をし、行事参加を始め、回覧板により情報収集をしています。映画やお芝居、音楽会の案内状を頂き出かけました。消防訓練では近隣へ呼び掛け、参加をして頂きました。</p>	<p>万福寺町内会に加入し、盆踊りへの参加や清掃活動を行っている。主催団体の招待を受け音楽会や映画会に参加したり、民生委員の声かけで「歌の会」出場練習を一緒に行った。正月には十二神社へ初詣に行き、日常の散歩で近隣との挨拶を交わしている。学校や保育園・幼稚園との交流、ボランティアの開発はこれからの課題と考えている。</p>	<p>開設後1年という短期間にもかかわらず地域に溶け込む努力をしています。小学校や幼稚園が町内区域とは別になり児童との交流が難しい環境にありますが、ボランティアの発掘も含め創意工夫により地域とのつながりが深まるよう今後の取り組みに期待します。</p>
	3	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>認知症の方でも、生活の一部としてできる事を、職員と共に行っています。(玄関前の掃除や公園の落ち葉はき、雪かきなど)町会の(有志)歌の会にも参加をさせて頂きました。</p>	/	/
	4	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>活動報告として、施設の各行事内容や職員への研修についてなど報告をしています。保健所による衛生講習(手洗い等)の提案や消防総合訓練避難時の意見を頂き、実施しました。</p>	<p>運営委員会は年6回、地域包括支援センター職員、町内会役員、民生委員、家族、利用者等の参加で開催している。行事や研修内容、防災訓練など日常の活動報告を行っている。参加者からの提案があり、事故や研修のテーマ等を議題に入れている。</p>	
	5	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>地域包括支援センターとは、運営推進会議を通じてご意見を頂いています。麻生区役所高齢者支援課へは定期的に訪問をしています。麻生警察署による、巡回があり現状の報告をしました。</p>	<p>区の高齢福祉課には定期的に訪問し、活動報告や法人の新規事業所を知らせている。消防署には防災計画や報告を行い、訓練時には立ち会い助言を得ている。警察の巡回訪問では高齢者の現況を説明し、協力をお願いしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>職員研修にて『身体拘束ゼロの手引き』をもとに、職員への指導を行っています。現在身体拘束を行っている入居者様はいません。玄関の施錠については、事務所から見えない場所である為、防犯上施錠を行っています。</p>	<p>基本的に身体拘束はしないことを契約書に明記し、年間計画の中で研修を行い、見守りや寄り添う介護を行っている。居室ドアやリビング窓の鍵は掛けていないが、建物の構造上危険性が高いことから玄関は施錠し、フロア入口も時間により施錠している。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>職員研修にて事例検討を含め、どうい場合が虐待になりうるケースなのかを話し合い、理解を深めています。職員も意識を持ち、虐待を見過ごさないように日々心がけています。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>今後利用を考えている家族について、制度利用について関係者等に繋ぎ、話し合いを持てるよう支援をしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>申し込み時点で重要事項を説明し納得ご理解頂き、入居契約時は末期ケアや、医療行為に関する説明、不安状況など具体例をあげ説明、利用料金（退去時も含め）等説明し納得の上契約を行っています。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時の面談やお手紙の返事、随時の電話連絡、運営推進会議など家族の意見を取り入れるよう努めています。日々の入居者との関わりの中でも意見を取り入れ対応に努めています。</p>	<p>家族の来訪時の面談及び電話、手紙で利用者の様子を知らせたり、家族からの要望や意見を聞いている。運営推進会議には利用者や全家族に出席を依頼し、意見を出せる機会を設けている。防災訓練や食事への家族からの要望を運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月のスタッフ会議では、業務内容やサービスの提供等について、意見や提案を検討し、よりよいものにできるよう努めています。会社全体の運営会議の内容を報告、意見を聞く機会を設けています。</p>	<p>月1回のスタッフ会議や朝夕の申し送り、ミニカンファレンスで意見や提案を聞く機会を設けている。担当業務等の意見や要望を出し合い、ゴミの収集方法など日常の業務に反映している。年2回の管理者との個人面談を行い、職員個人の意見や希望を聞いている。</p>	
12		<p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>契約更新時に個人面談を行い、就業時間の増減や、契約社員や社会保険の加入についての希望等、契約条件などを考慮し、雇い入れを取り交わしています。無資格者には、資格取得支援制度などの奨学金制度も整備してあります</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めています。</p>	<p>社内研修の定期的な実施や外部研修への参加・資格取得を推奨するなど、個々のスキルの向上を働きかけています。法人内で他施設への実習も行っています。</p>		
14		<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>他施設との合同研修に参加をしています。（新人研修や介護基礎研修、マナー、救急救命等）他施設見学も行い、施設長研修も毎月行っています。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前に、家族や本人に要望や不安ごとを聞き、利用開始時にはアセスメントをしっかりと、会話の機会を多く持つことで、信頼関係を築けるように努め、どんな事でも話していただけるような良好な関係性を持てるよう努めています。入居者の要望は丁寧に聞き取り、ケアに反映させています。</p>		
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご本人ご家族が困っている事や不安な材料や要望を聞き取るよう常に連絡を取り合い、アセスメントや介護支援計画書に反映させ、安心して利用していただけるように努めています。例としては、入居者の小遣い持参については、入居者のお気持ちや社会性の持続に配慮し、紛失の可能性もあるという説明をした上で対応しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>認知症の度合いや、入居者と家族の物理的・精神的環境を把握し、GHが適切かどうかを見極め、サービスに繋がっています。場合によっては、小規模多機能型居宅介護や、他事業などへの紹介も行っています。</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>ご本人の意思を第一に尊重し、本人のADLや意欲に沿った方法で、職員や他利用者と共に行うことで完成し、仕事ができる喜びを分かち合い、他者と協力しながら生活できるように努めています。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>常に家族の意見も反映できるようにし、ご本人の情報をご家族とも共有し、一方通行にならないように心がけています。帰宅願望の強い方への対応については、カンファレンスを行い、統一した声掛けやケアを行っています。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ご家族の思いもあり、自宅（子供さんの自宅も含む）へ外泊をしたり、馴染みの美容院へお連れしたり、面会時には必ず散歩へ行く方もいます。遠方の方は電話での会話もされ、支援に努めています。</p>	<p>友達や知人の来訪時や電話・手紙への支援をしている。自宅で家族と過ごすよう支援している。裁縫やお茶、生け花など利用者の従来からの趣味を事業所内での活動に生かし、皆さんと楽しみながら継続できるよう取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションや健康体操に希望に応じて参加して頂くことで交流が生まれ馴染みの関係が育まれています。1つの作品を作る時は、分担をして、教え合い、協力をする場面が見られています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	手紙や電話にてご様子やご状態などをお聞きしています。ご家族の了解を得て入院先や他施設などにも面会へ行き、ご本人と話をさせて頂いております。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご希望に添えるよう、職員間で話、早い段階で対応しています。買い物については、ご本人が自分で選べるよう、外出の支援をしています。又ご家族より、ご本人への希望や意向を聞き支援をしています。	利用者や家族から入浴、排せつ、食事の習慣など入居前の生活状況を知り、思いや習慣を継続できるよう支援に活かしている。意向の把握が困難な方は表情や行動、体調など利用者の反応を見て理解に努めたり、家族の意見を聞き、本人の気持ちの把握に努めている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前や入居後も、利用していた担当ケアマネジャー及び、家族や本人から情報を得て、今までやってきた家事や生け花等の趣味等が継続できるよう、利用に至る敬意や生活環境なども職員間で共有し、今までの生活習慣が継続できるような支援に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々のアセスメント以外に、ケアプランの更新時の際にもモニタリングや評価を行っており、職員一人ひとりが、利用者の現状をしっかりと把握し、必要な支援について個別ケアに努め、話し合い対応しています。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議や日々のケアの中において、モニタリングやアセスメントを行い、本人や家族の意向に近づいた介護計画にする為、ご本人との会話を大切にし、面会時家族や担当者会議にて職員からの情報を多く得て、介護計画書を作成、職員間で共有を行っています。	アセスメントやモニタリング、担当者会議、ミニカンファレンス等の話し合い、医師の助言、本人・家族の意向などを踏まえ、個別計画を作成している。利用者・家族に説明し、同意を得ている。実施状況は「個人記録」に詳細な記録を取っている。計画は半年に1回、入院時などサービス変更時にも随時変更や作成をしている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録に、時間ごとのご様子や、入居者の言葉や様子を記録し、どういう思いを抱いているのかをリサーチし、日々の細かな情報や気づきを記録に残し、申し送りやカンファにて情報の共有及び、介護計画書への反映、見直しを行っています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	常に現状必要なサービス、今後必要になるサービスは何であるかを考え、本人と家族の関係性（今までの生活暦等）を考慮しながら、かかりつけ医の受診の支援や親類との関係の調整など、必要なサービスにつなげるよう取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域開催の演芸や演奏会に招待され参加しました。地域（有志）の歌の会では練習に出かけました。豊かな暮らしを楽しんで頂けるよう、地域との関係性を深めたいと考えています。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に2回の定期往診を受けていますが、病状により専門の病院へ受診をされている方や入所前のかかりつけ病院へ受診されている方もいます。主治医への報告を行い、連携に努めています。	整形外科医及び内科医が毎週交代で訪問診療しており、希望に応じて受診できる。歯科医も診療や口腔ケアを行い、週1回来訪している。かかりつけ医については、基本は家族の同行通院とし、受診情報は家族から得ている。協力医にも伝え緊急時への対策にもなっている。	
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の申し送りやケアの中で、相談を行い、個人記録に記入し情報の共有を行い、適切な受診や看護に繋がっています。また、看護師による介護職員への指導も行い、適切な情報の伝達が行えるよう取り組んでいます。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	定期的にお見舞いに行き、病院の相談の方を通じて、病状経過やリハビリ状況などを聞き、退院時前の家族への説明にも同席させていただき帰園後の生活についてご家族の意向を考慮し、適切な対応をとれるよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居契約時に指針についての説明を行い、同意を交わしています。主治医とも意向の確認を行っています。病気については早い段階で、ご家族と主治医、ケアマネジャーも含め十分に話し合い、意向の変更があれば、地域病院や他施設へ繋がるよう支援をしています。</p>	<p>事業所として指針を定め、入居の際に重度化や看取りに向けて方針を利用者・家族と共有している。夜間を除き看護師が常駐しており、医師の協力が得られ医療連携体制がある。職員に向けた研修を行い、重度化した利用者に対応したケースとして2事例がある。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時対応マニュアルに沿って支援できるよう、研修を重ね職員間で共有しています。毎月のスタッフ会議にて当月の事故やひやりはっこの事例を再度検討しています。</p>			
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に消防署と連携し、日中の避難訓練、夜間想定の実施を行っています。また、災害時備蓄品も備えています。消防署の方の立会や地域の方の参加により協力体制を築いてきています。</p>	<p>防災訓練は開所時と夜間訓練を含め、年3回実施した。消火、避難、通報、誘導等の総合訓練で、消防署員や家族、町内会を通じた地域の人の参加もある。近隣には防災訓練のチラシを配り、協力を呼び掛けると共に災害時は避難場所、食事の提供が可能なのも知らせている。3日分の食料と懐中電灯等の防災用品を備えている。</p>		
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	<p>一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>人生の大先輩であるという事を意識し、常に尊敬と敬意の念を持って接しています。たとえ、不穏状態が続いたとしても、その方の生活歴や性格を考慮し、言葉掛けや対応をしています。着脱や靴の脱ぎ履きの順番もご本人を尊重し、ご本人の順番に合わせて介助を行う工夫をしています。</p>	<p>「プライバシーと個人情報」というテーマで研修を行い、トイレ誘導や入浴などプライバシーに配慮している。守秘義務など個人情報保護を遵守し、パソコンや書類などの個人情報を管理している。毎朝の「申し送り」では利用者の人権を尊重する接遇の基本を唱和している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	危険な行為や言葉、他の方々に不快感や不穏な状態、健康状態に支障にならない限り、自己決定できる支援を心がけています。購入品の希望があった場合は、一緒に買い物へ行き、自分で選ぶように働きかけています。又、入浴後の着替えの洋服や飲み物も、自分で選べるよう声掛けを行っています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴や更衣、炊事、掃除、洗濯の手伝い等、可能な限りご本人の意向を優先しています。働きたいのか、のんびりと過ごしたいのか聞き取りや様子から意向をくみ取り支援しています。就寝時間や起床時間も、体調等を考慮し、時間だから寝て頂く、起きて頂く等の無理な促しは行っていません。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の意思や希望を尊重し、ほとんどの入居者が自分で衣類を選んでいます。季節やTPOに合った身だしなみができるよう職員からの声掛けも行っています。また、ご家族と相談して、衣類の買い物と一緒に出かけしています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日常や食事レクレーションなどでは、入居者ひとりひとりの生活歴や意向を把握し、積極的に調理に参加していただけるよう、準備やさりげない声かけの支援を行っています。	食材やメニューは業者に委託し、調理や盛り付け、片付けは利用者と共にしている。自分達で栽培したトマトやナス、スイカを食したり、ピザなどのおやつ作りもしている。行事食として寿司や弁当の出前を取ったり、レストランでの外出を楽しんでいる。職員は一人ひとりの食事への声かけや支援を行い、明るい笑い声のある食事風景であった。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士によるバランスの摂れたメニューにより調理を行っています。個人の状態に合わせ、調理の工夫をし対応を変えています。適切な飲水量が確保できるように、摂取量は記録に残し、不足時はご本人の嗜好に配慮した飲み物や時間帯などを考え、水分提供に努めています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個別に応じたケアを実践しています。毎食後、口腔ケアの介助が必要な方には、声掛けや見守りや、必要に応じて、介助を行っています。歯科往診にて口腔内についての指導も受け、対応をしています。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ご本人の尿意や便意の訴えにより声掛け、誘導を行っています。尿意や便意の訴えの無い方、間に合わない方は、記録により排泄パターンを把握し、時間を見計らって声掛け誘導を行っています。	個人記録のタイムスケジュールで排せつや排便パターンを把握し誘導を行っている。利用者の半数は自立している。声かけや誘導を行い、リハビリパンツから綿パンツへと移行し、自立した方が3名という実績をあげている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一人ひとりの食事量、水分量を把握し、排泄の記録を残す事で、便秘の早期発見と予防に努めています。必要な飲水量の確保、おやつ（ヨーグルトやゼリーなど）にて排便コントロールの支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴が楽しみになるよう、入浴剤を使用し温泉気分を演出しています。体の状態やご本人の意思を考慮し、気分良く入れるよう声掛けを行っています。拒否がある場合はその方に合わせた声掛けや誘導に努めています。入浴ができない時が続くような場合は、足浴や清拭で対応しています。	基本は週2回の入浴だが、希望すれば毎日でも対応している。入浴をしたがらない利用者には時間を変えたり、シャワー浴や清拭もあり、就寝前には足浴を希望に応じて行っている。同性介助にも対応している。菖蒲湯、ゆず湯、温泉入浴剤を使用し入浴を楽しいものになっている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	それぞれの入居者が、自由に自分の時間を居室やフロアにて過ごしています。お一人での移動が不可能な場合は、状態観察から、休息の声掛け誘導を行なっています。夜間安眠して頂けるよう、日中の活動内容も考慮し支援しています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬は特に配慮をし、症状の変化や経過などは主治医へ必ず報告し、連携に努めています。また、看護師が記載した往診記録の確認、又は、個人記録に添付してある薬剤情報を確認しながら、服薬の支援を行なっています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	誰かの役に立つ事で生活に張り合いを感じて過ごせるよう支援に努めています。炊事が得意な方、洗濯干しや洗濯たたみが好きな方、手芸が好きで小物入れを作ってくださいる方がいます。職員や他利用者から感謝されることにより、喜んでいただいています。職員から常に感謝の言葉をお伝えするよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>家族対応も含め随時外出しています。天気の良い時にはテラスに出て外気浴を楽しんでいます。リビングの窓を開放し、外の景色やかぜを肌感じて頂くなどの支援も行っています。</p>	<p>外出は散歩や買い物、喫茶など車いすや在宅酸素利用者にも行き渡るよう平均週2回のペースで行われている。夏の暑い時には朝夕の涼しい時間で行っている。法人の車を利用し、バラ園見学や梨もぎ、夏祭り、花火大会への参加など戸外へ出かけ、四季折々の花や行事を楽しむ支援をしている。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理は主に事務所でっており、使った額を請求させていただく立替制度を取っています。ご希望に応じ、家族管理の下、小額のお金を所持できるようにしています。</p>			
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>用事がある時や、家に帰りたいたいという訴えがあった時には、家族了解の下、電話ができるように支援を行なっています。また、手紙のやり取りができるよう支援し、大切な人の関わりが続けられるよう支援しています。</p>			
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関やリビングに季節の花を飾り自然な季節感を感じていただいています。また、ウイルス除去加湿空気清浄器を備え、毎日、湿度や温度管理をこまめに行っています。壁に写真などを飾りご家族や来訪者との会話に繋げています。</p>	<p>玄関、リビングなどの共用空間は、真新しい床フロアで明るい。玄関フロアには大きな時計が設置されているほか、観葉植物、置物などがある。壁面には季節感のある利用者との共同作品やバラ園見学、誕生会など日常活動の様子がうかがえる笑顔いっぱいの写真が飾られている。利用者の趣味を活かした生け花などが飾られ、心和む家庭的な環境である。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者各々が、自由に気の合う入居者の居室に出入りして交流しています。また、自室で絵を書いたり、音楽を聴いたり自由に過ごしています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具やお気に入りの写真（アルバム等）や置時計などお持ち頂き、そばに置く事により、自宅に近い感覚で、安心して居心地よく生活出来るよう、家族と一緒に工夫をするよう配慮をしています。	ミラー付きの洗面台、エアコン、照明器具、クローゼット、ベッド、ナースコールが備え付けになっている。利用者は、テレビやタンス、仏壇などを持ち込んでいる。「家の居室らしく」「書斎らしく」と利用者の好みに合わせ、家族や職員が相談しながらその人らしい居室にしている。洗面台には化粧水や美白液が置いてあり、自分で身支度を整える方が多い。テーブルや椅子など転倒防止の役割としての家具もある。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室内設置の洗面台では口腔ケアや整髪、身だしなみ等自分でできるよう、個別性を重視した環境を目指し自立した生活が送れるよう支援しています。その人の力量に合わせて、家事の継続を行っています。		

事業所名	花物語しんゆりナーシング
ユニット名	2階

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>理念の1つである、寄り添い合う暮らしでは、職員による日常の介護、医師による専門の医療、家族の思い、地域社会との関わりなど、それぞれが支え、寄り添い合いらす環境作りを共有しています。</p>		
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>町内会に加入をし、行事参加を始め、回覧板により情報収集をしています。映画やお芝居、音楽会の案内状を頂き出かけました。消防訓練では近隣へ呼び掛け、参加をして頂きました。</p>		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>認知症の方でも、生活の一部としてできる事を、職員と共に行っています。（玄関前の掃除や公園の落ち葉はき、雪かきなど）町会の（有志）歌の会にも参加をさせて頂きました。</p>		
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>活動報告として、施設の各行事内容や職員への研修についてなど報告をしています。保健所による衛生講習（手洗い等）の提案や消防総合訓練避難時の意見を頂き、実施しました。</p>		
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>地域包括支援センターとは、運営推進会議を通じてご意見を頂いています。麻生区役所高齢者支援課へは定期的に訪問をしています。麻生警察署による、巡回があり現状の報告をしました。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>職員研修にて『身体拘束ゼロの手引き』をもとに、職員への指導を行っています。現在身体拘束を行っている入居者様はいません。玄関の施錠については、事務所から見えない場所である為、防犯上施錠行っています。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>職員研修にて事例検討を含め、どういった場合が虐待になりうるケースなのかを話し合い、理解を深めています。職員も意識を持ち、虐待を見過ごさないように日々心がけています。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>今後利用を考えている家族について、制度利用について関係者等に繋ぎ、話し合いを持てるよう支援をしています。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>申し込み時点で重要事項を説明し納得ご理解頂き、入居契約時は末期ケアや、医療行為に関する説明、不安状況など具体例をあげ説明、利用料金（退去時も含め）等説明し納得の上契約を行っています。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時の面談やお手紙の返事、随時の電話連絡、運営推進会議など家族の意見を取り入れるよう努めています。日々の入居者との関わりの中でも意見を取り入れ対応に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のスタッフ会議では、業務内容やサービスの提供等について、意見や提案を検討し、よりよいものにできるよう努めています。会社全体の運営会議の内容を報告、意見を聞く機会を設けています。		
12		就業環境の整備	契約更新時に個人面談を行い、就業時間の増減や、契約社員や社会保険の加入についての希望等、契約条件などを考慮し、雇い入れを取り交わしています。無資格者には、資格取得支援制度などの奨学金制度も整備してあります		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修の定期的な実施や外部研修への参加・資格取得を推奨するなど、個々のスキルの向上を働きかけています。法人内で他施設への実習も行っています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	他施設との合同研修に参加をしています。（新人研修や介護基礎研修、マナー、救急救命等）他施設見学も行い、施設長研修も毎月行っています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に、家族や本人に要望や不安ごとを聞き、利用開始時にはアセスメントをしっかりと、会話の機会を多く持つことで、信頼関係を築けるように努め、どんな事でも話していただけるような良好な関係性を持てるよう努めています。入居者の要望は丁寧に聞き取り、ケアに反映させています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご本人ご家族が困っている事や不安な材料や要望を聞き取るよう常に連絡を取り合い、アセスメントや介護支援計画書に反映させ、安心して利用していただけるように努めています。例としては、入居者の小遣い持参については、入居者のお気持ちや社会性の持続に配慮し、紛失の可能性もあるという説明をした上で対応しています。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>認知症の度合いや、入居者と家族の物理的・精神的環境を把握し、GHが適切かどうかを見極め、サービスに繋げています。場合によっては、小規模多機能型居宅介護や、他事業などへの紹介も行っています。</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>ご本人の意思を第一に尊重し、本人のADLや意欲に沿った方法で、職員や他利用者と共に行うことで完成し、仕事ができる喜びを分かち合い、他者と協力しながら生活できるように努めています。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>常に家族の意見も反映できるようにし、ご本人の情報をご家族とも共有し、一方通行にならないように心がけています。帰宅願望の強い方への対応については、カンファレンスを行い、統一した声掛けやケアを行っています。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ご家族の思いもあり、自宅（子供さんの自宅も含む）へ外泊をしたり、馴染みの美容院へお連れしたり、面会時には必ず散歩へ行く方もいます。遠方の方は電話での会話もされ、支援に努めています</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクレーションや健康体操に希望に応じて参加して頂くことで交流が生まれ馴染みの関係が育まれています。1つの作品を作る時は、分担をして、教え合い、協力をする場面が見られています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	手紙や電話にてご様子やご状態などをお聞きしています。ご家族の了解を得て入院先や他施設などにも面会へ行き、ご本人と話をさせて頂いております。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご希望に添えるよう、職員間で話、早い段階で対応しています。買い物については、ご本人が自分で選べるよう、外出の支援をしています。又ご家族より、ご本人への希望や意向を聞き支援をしています		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前や入居後も、利用していた担当ケアマネジャー及び、家族や本人から情報を得て、今までやってきた家事や生け花等の趣味等が継続できるよう、利用に至る敬意や生活環境なども職員間で共有し、今までの生活習慣が継続できるような支援に努めています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々のアセスメント以外に、ケアプランの更新時の際にもモニタリングや評価を行っており、職員一人ひとりが、利用者の現状をしっかりと把握し、必要な支援について個別ケアに努め、話し合い対応しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議や日々のケアの中において、モニタリングやアセスメントを行い、本人や家族の意向に近づいた介護計画にする為、ご本人との会話を大切にし、面会時家族や担当者会議にて職員からの情報を多く得て、介護計画書を作成、職員間で共有を行っています。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録に、時間ごとのご様子や、入居者の言葉や様子を記録し、どういう思いを抱いているのかをリサーチし、日々の細かな情報や気づきを記録に残し、申し送りやカンファにて情報の共有及び、介護計画書への反映、見直しを行っています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	常に現状必要なサービス、今後必要になるサービスは何であるかを考え、本人と家族の関係性（今までの生活歴等）を考慮しながら、かかりつけ医の受診の支援や親類との関係の調整など、必要なサービスにつなげるよう取り組んでいます。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域開催の演芸や演奏会に招待され参加しました。地域（有志）の歌の会では練習に出かけました。豊かな暮らしを楽しんで頂けるよう、地域との関係性を深めたいと考えています。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している	月に2回の定期往診を受けていますが、病状により専門の病院へ受診をされている方や入所前のかかりつけ病院へ受診されている方もいます。主治医への報告を行い、連携に努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日々の申し送りやケアの中で、相談を行い、個人記録に記入し情報の共有を行い、適切な受診や看護に繋げています。また、看護師による介護職員への指導も行い、適切な情報の伝達が行えるよう取り組んでいます。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>定期的にお見舞いに行き、病院の相談の方を通じて、病状経過やリハビリ状況などを聞き、退院前時の家族への説明にも同席させていただき帰園後の生活についてご家族の意向を考慮し、適切な対応をとれるよう支援しています。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居契約時に指針についての説明を行い、同意を交わしています。主治医とも意向の確認を行っています。病気については早い段階で、ご家族と主治医、CMも含め十分に話し合い、意向の変更があれば、地域病院や他施設へ繋がるよう支援をしています。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時対応マニュアルに沿って支援できるように、研修を重ね職員間で共有しています。毎月のスタッフ会議にて当月の事故やひやりはっとの事例を再度検討しています。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に消防署と連携し、日中の避難訓練、夜間想定訓練を実施しています。また、災害時備蓄品も備えています。消防署の方の立会や地域の方の参加により協力体制を築いてきています。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の大先輩であるという事を意識し、常に尊敬と敬意の念を持って接しています。たとえ、不穏状態が続いたとしても、その方の生活歴や性格を考慮し、言葉掛けや対応をしています。着脱や靴の脱ぎ履きの順番もご本人を尊重し、ご本人の順番に合わせて介助を行う工夫をしています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	危険な行為や言葉、他の方々に不快感や不穏な状態、健康状態に支障にならない限り、自己決定できる支援を心がけています。購入品の希望があった場合は、一緒に買い物へ行き、自分で選ぶように働きかけています。又、入浴後の着替えの洋服や飲み物も、自分で選べるよう声掛けを行っています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴や更衣、炊事、掃除、洗濯の手伝い等、可能な限りご本人の意向を優先しています。働きたいのか、のんびりと過ごしたいのか聞き取りや様子から意向をくみ取り支援しています。就寝時間や起床時間も、体調等を考慮し、時間だから寝て頂く、起きて頂く等の無理な促しは行っていません。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の意思や希望を尊重し、ほとんどの入居者が自分で衣類を選んでいます。季節やTP0に合った身だしなみが出来るよう職員からの声掛けも行っています。また、ご家族と相談して、衣類の買い物と一緒に出かけしています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日常や食事レクリエーションなどでは、入居者ひとりひとりの生活歴や意向を把握し、積極的に調理に参加していただけるよう、準備やさりげない声かけの支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養士によるバランスの摂れたメニューにより調理を行っています。個人の状態に合わせ、調理の工夫をし対応を変えています。適切な飲水量が確保できるように、摂取量は記録に残し、不足時はご本人の嗜好に配慮した飲み物や時間帯などを考え、水分提供に努めています。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>個別に応じたケアを実践しています。毎食後、口腔ケアの介助が必要な方には、声掛けや見守りや、必要に応じて、介助を行っています。歯科往診にて口腔内についての指導も受け、対応をしています。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>ご本人の尿意や便意の訴えにより声掛け、誘導を行っています。尿意や便意の訴えの無い方、間に合わない方は、記録により排泄パターンを把握し、時間を見計らって声掛け誘導を行っています。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>一人ひとりの食事量、水分量を把握し、排泄の記録を残す事で、便秘の早期発見と予防に努めています。必要な飲水量の確保、おやつ工夫（ヨーグルトやゼリーなど）にて排便コントロールの支援を行っています。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴が楽しみになるよう、入浴剤を使用し温泉気分を演出しています。体の状態やご本人の意思を考慮し、気分良く入れるよう声掛けを行っています。拒否がある場合はその方に合わせた声掛けや誘導に努めています。入浴ができない時が続くような場合は、足浴や清拭で対応しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>それぞれの入居者が、自由に自分の時間を居室やフロアにて過ごしています。お一人での移動が不可能な場合は、状態観察から、休息の声掛け誘導を行なっています。夜間安眠して頂けるよう、日中の活動内容も考慮し支援しています。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬は特に配慮をし、症状の変化や経過などは主治医へ必ず報告し、連携に努めています。また、看護師が記載した往診記録の確認、又は、個人記録に添付してある薬剤情報を確認しながら、服薬の支援を行なっています。</p>		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>誰かの役に立つ事で生活に張り合いを感じて過ごせるよう支援に努めています。炊事が得意な方、洗濯干しや洗濯たたみが好きな方、手芸が好きで小物入れを作ってくださいの方がいます。職員や他利用者から感謝されることにより、喜んでいただいています。職員から常に感謝の言葉をお伝えするよう努めています。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>家族対応も含め随時外出しています。天気の良い時にはテラスに出て外気浴を楽しんでいます。リビングの窓を開放し、外の景色やかぜを肌感じて頂くなどの支援も行っています。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理は主に事務所でっており、使った額を請求させていただき立替制度を取っています。ご希望に応じ、家族管理の下、小額のお金を所持できるようにしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	用事がある時や、家に帰りたいという訴えがあった時には、家族了解の下、電話ができるように支援を行なっています。また、手紙のやり取りができるよう支援し、大切な人との関わりが続けられるよう支援しています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やリビングに季節の花を飾り自然な季節感を感じていただいています。また、ウイルス除去加湿空気清浄器を備え、毎日、湿度や温度管理をこまめに行っています。壁に写真などを飾りご家族や来訪者との会話に繋げています。		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者各々が、自由に気の合う入居者の居室に出入りして交流しています。また、自室で絵を書いたり、音楽を聴いたり自由に過ごしています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具やお気に入りの写真（アルバム等）や置時計などお持ち頂き、そばに置く事により、自宅に近い感覚で、安心して居心地よく生活出来るよう、家族と一緒に工夫をするよう配慮をしています。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室内設置の洗面台では口腔ケアや整髪、身だしなみ等自分でできるよう、個別性を重視した環境を目指し自立した生活が送れるよう支援しています。その人の力量に合わせて、家事の継続を行っています。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 花物語しんゆりナーシング

作成日 平成26年1月31日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1		地域との繋がりについて、関わりを持てるよう努力をする	学校や幼稚園などの交流を持ち、ボランティアも構築し、地域との繋がりを持つ。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の小学校と交流が持てるよう、努力をする。 ・ボランティアの協力が得られるように活動する。 ・運営推進会議を通して働きかけて行く。 	1年間
2					
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。
 注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。